

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
 011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyu.or.jp/>

第119号

支部長会議(総会)報告

五月十三日(日)午前九時三十分、北海道新聞社会議室において、平成二十四年度支部長会議(総会)が開催されました。会議には全道から二十四支部長が参加し、会議には全道間事務局長が会長代理挨拶をされ、引き続き武藤副会長より、本総会の重要課題である①協会からの会長選出、②審査委員会、会友の会費値上げ等の規約改正案と、道展六十回記念事業の展開について検討頂きたい旨挨拶があり、議長には、岩見沢支部長の尾崎和男氏が選出され議事に入りました。

一、事業報告(本郷会務委員)

1、各委員会、会議報告

第五十九回写真道展審査委員長に志賀芳彦氏。写真道展実行委員長に中野芳生氏。新奨励賞選考委員に山下智氏(札幌)、工藤二男氏(釧路)、斎藤ただし氏(苫小牧)が就任しました。規約検討委員会には、企画委員会、事務局のほか吉江和幸氏(函館)、工藤二男氏(釧路)、佐々木昇氏(室蘭)、志賀芳彦氏(旭川)が選ばれました。

2、第五十八回写真道展の報告

公募出品点数は三十一回展以来最大の応募となり、入選率は四・六%となった。出品者は一般応募者が六十二%で支部会員を上回っている。

る。またインクジェットによる出品数は全作品の六十六%となった。

3、事業報告

道展巡回展は全道十五会場で開催。審査委員の派遣、支部年度賞の授与は前年と同様な実績であった。

二、決算報告(滝野、阿部会務委員)

前年に続く会員の減少に伴い、会員数三六一名となり収入の落ち込みが著しいと説明。引き続き費目ごとの支出金の説明後、山下会計監査委員より、適正に執行されているとの報告があった。

三、事業計画(案)(本郷会務委員)

「第五十九回写真道展」は道新ぎやらりーを皮切りに全道十四会場で開催。審査委員の支部派遣、支部年度賞の授与、月例会作品の審査講評の実施など。第六十回写真道展、第三十二回学生写真道展の応募(平成二十五年二月一日〜十日)、審査(同年三月二日〜三日)。来年度より、北海道教育長賞の代わりに札幌市長賞が授与との報告があった。三年毎に作成の会員名簿・規約各種申請書の冊子を作成。「入会案内」のしおりの作成。

第六十回写真道展記念事業については

◎審査委員会・会友作品展・公募展を、大通美術館において開催。会場では、第一回から六十回までの大臣賞受賞作品のパネル展示も行う。

◎第六十回記念作品集の発行。第三十二回から六十回展までの道展記録の掲載。販売価格三千円。◎テーマ「わが家の夏休み」のフォトコンテストを実施。一般を対象。◎第六十回写真道展審査委員長の招聘、水越武氏。
 ◎例年の祝賀会を功労者表彰と協力者などを招待した記念祝賀会とする。



支部長会議

四、規約改正(案)

改正案の柱として、平成二十五年度より
 ◎審査委員会(一万五千円)、会友(五千円)の会費値上げ。◎会長を写真協会から選出する。◎提案報告がされた。
 ◎質疑として、審査委員会・会友の会費値上げについて一般会計が赤字決算になっていない状況で必要なのではないか。規約改正(案)という協会の根幹にかかわる提案が突然された事。事前に改正点の経過について支部に知らせるべきでないか。総会資料として配布されている文書は議案として明確にした方が分かりやすい。本部会務委員の任務分担が各支部把握していない、だれに連絡してよいか分からない。等々の意見が出された。

◎答弁として、決算報告でもあった通り、会員の減少による収入の激減。協会、道展の業務

五、会計予算(案)

1、写真協会予算(案)(滝野・阿部会務委員)
 収入は、道写協会員三八〇名と見込んでの縮減予算となっている。今年度は三年毎に発行する会員名簿の作成があり、備品購入積立金を充ててのやり繰りである。
 2、積立金会計(本郷会務委員)
 備品購入費は昨年度より凍結されており、残額は今年発行予定の会員名簿の費用に充てていく。
 3、第五十九回写真道展予算執行状況(中野潤子会務委員)協賛金の減少があったが出品者の増などで前回展と同様な収支状況で進んでおります。

4、写真道展作品集会計予算案(森田会務委員)
 昨年九月に道展会計決算報告書と一緒に送付している予算書と同じであり、来年度の総会議案には掲載をしない。なお、作品集の速やかな頒布に協力願います。
 以上会計予算(案)について承認された。

六、支部の廃部、審査委員会会友退会

◎網走支部、平成二十四年三月二十八日付
 ◎審査委員会(一名)向田久善(中標津)
 ◎会友(四名)佐藤正二郎(根室)、山根寿昭(釧路)、佐々木栄市(紋別)、小林忠(滝川)
 以上平成二十四年度議案全般に亘りお諮りし全員一致で承認され、最後に尾崎議長退任挨拶で支部長会議(総会)は滞りなく終了いたしました。

(文責:本郷正利)

道写協の体制が変わります —規約改正の骨子と経過について—

北海道写真協会は創立以来、会長職を北海道新聞社にその任をお願いしてきましたが、平成二十二年に現会長(北海道新聞取締役事業局長)より、写真協会の会長職には協会の出身者が望ましいとの提言がありました。協会内部からの会長選出については、懸案事項として今日に至った経緯もあり、この提言について前向きに検討してきました。

この体制の変更、実現には規約改正を必要とし、これまで平成二十三年には道新文化事業社、道新事業局との規約改正(案)の打ち合わせ、役員会での協議、規約検討委員会を設置しての意見聴取を行い、平成二十四年度支部長会議(総会)に提案し、承認を得てきたところで

す。
なお、今後、協会内部から会長を輩出するにあたって、これまでの北海道新聞社と写真協会の「協力、援助」体制については、何ら変更をきたすものではありません。

また、道新の機構改革により写真協会の事務局が道新文化事業社に移行し、写真協会及び写真道展事務の過半は、役員会並びに写真道展実行委員会にて遂行しなければならぬ状況にあります。

そのため、写真協会及び写真道展事務全般のプロパーの雇用に伴う財源確保を規約改正(案)に加え、検討してきました。

事務プロパーの人件費確保について、道写協会員の会費値上げは会員減少と支部活動の現

状から据え置きとし、審査会員・会友の会費値上げに依拠せざるを得ないと判断致しました。
(文責：本郷正利)

新審査会員 — 私の抱負



中西 勉
(室蘭支部)

この度は写真道展審査会員に推挙いただき、感謝の気持ちと責務の重さに身の引き締まる思いを感じております。

昨今のデジタルカメラの進化と今後のデジタル技術を踏まえ、写真表現の多様化も取り入れた写真芸術と本来の写真表現の良さをも加味した選択肢を持つて今後の活動を実施していきたいと思えます。

伝統の写真道展を引き継ぎ守っていく為の力添えに貢献出来ればとの想いで、自分に出来る力を注いでいきたいと思えますので今後ともよろしくお願い致します。

おめでとうございます

新写真道展会友の皆さん

- 堀江 和彦さん 札幌支部
- 沖 義教さん 芦別支部
- 向井 和栄さん 道北支部
- 石川 隆さん 釧路支部
- 古平 文男さん 三笠支部

私の一枚=随 想
〈シリーズ-57〉
道分支部長(会友)
澤田 孝夫

私を道展に導いた一枚



EXPO70・大阪万国博覧会に友人のペンタックスを借りて行った。初めて見る光景は別世界でした。特にコンパニオンの美しさには魅了された。(私も若かった)その翌年、月給を叩いて一眼レフを購入した。カメラを手にしただけでイッパシのカメラマン?になった気分です。有頂天でした。そのころから写真道展は憧れであり、私には高嶺の花でした。

ある日、石狩浜でのN撮影会に参加し、割と気に入った一枚が出来た。ダメ元との思いで「第二十一回写真道展」に応募しました。その後、応募したことも忘れていたくらいでした。ある日、知人から「新聞に名前が出ていた」と言われ、何のことかと質すと道展の発表とのこと。半信半疑で数日前の新聞を漁り、そこに自分の名前を見つけた。何となく複雑な気持ち

がしたものでした。(高嶺の花をつかんだ) 即、道写協道分支部に入会しました。当時、支部に度々来ていた及川清治郎先生の指導を受け、益々写真の虜になってしまった。最大の目標を「写真道展」と位置づけ、シャッターを斬り続けた。結果は入選、落選の繰り返しで、特に落選の悔しさがより一層拍車をかけました。平成四年、道展応募も二十年近く経ち、そろそろ卒業と思ひ会友になりました。カメラを手にして四十余年、写真は私の人生の糧となり、多くの写友を与えてくれました。もし、この一枚が道展に入選していなかったなら私の人生が変わっていたかも?

支部探訪―三笠

支部長 麻生 哲之助

■三笠支部の誕生

昭和五十九年に三笠市及び文化事業関係者の協力で開催された「写真道展三笠巡回展」を契機に、(故)及川清治郎審査委員(三笠市出身)から三笠に支部が必要との話もあり、「三笠支部」の設立に向けて岩見沢支部に所属していた川原民也さん、小荒井昂さん、高橋英昭さん等が尽力され、六十年二月に及川清治郎氏、三笠市長等の来賓を迎え、会員四十二名で三笠支部が誕生しました。当時、会費は年間千円、現在は四千円で会員も十名に激減しましたが、少数精鋭で頑張っています。

■少数精鋭で様々な活動

活動としては、結成翌年に三笠鉄道村三笠鉄道記念館オープン記念として、北海道写真協会・北海道新聞社主催、三笠支部主管、三笠



写真道展三笠巡回展(平成13年)

市・教育委員会・文化協会の後援によるモデル撮影会を開催、道内各地からカメラマンが参加されました。



支部撮影会(富良野、美瑛方面―平成21年)

支部顧問であった及川清治郎氏には創立当時から支部撮影会の指導、コンテストの審査、写真道展巡回展の作品解説をしていただくなど大変お世話になりました。残念ながらお亡くなりになりましたが、その後は加賀谷重雄審査委員に指導していただいております。

撮影会としては、市観光協会、神社祭典、盆踊り、企業、各イベント等での写真コンテストもありましたが、今は殆どなく、年一回の日帰り撮影会が一つの楽しみとして残っています。十人足らずの会員ですが、車に分乗し小樽、富良野・美瑛、モエレ沼公園、今年は札幌支部のお世話で、野幌開拓の村でのモデル撮影会に参加させていただきました。

七月二十七日に田嶋英夫審査委員にお願いし、公開審査を開催しました。また、毎年のように三笠市民文化祭には撮

影会入賞・入選作品、支部会員の写真を展示し、市民の方々に喜ばれております。

■郷土三笠に根付いて

三笠支部では高橋英昭さんが会友でしたが、三年前には川原民也さん、今年には古平文男さんが新たに会友に認定されました。

平成十八年三月に空知しんきん産業振興基金として地域文化貢献賞を三笠支部を代表して麻生哲之助支部長が受賞しました。

当支部は創立以来二十八年経過し、当時の面影はありませんが、これからも地元三笠の歴史・風土等を月一回の例会を通して、益々研鑽を深め、良い作品の創作に努め、郷土三笠を全国に発信していきたいと思っております。

(副支部長 伊藤修身 記)

写真展 案内

― 田本 實 写真展 ― 「天空の狩人」



会期 二〇一三年十月二十三日(火)

二十九日(月)

会場 NHKハートプラザギャラリー

写真展によせて

生息数が減少し特別絶滅危惧種に指定されている、その貴重な鳥。断崖に棲む「ハヤブサ」の生き様に感動し、その一瞬を…、自宅から片道約十時間かけて、早春から初夏に七年間撮り続けてきた作品です。

(旭川支部 田本)

【同氏開催中の写真展】

「氷点」に生きる

会期/二〇一三年八月五日(日)〜二十六日(日)
会場/三浦綾子記念文学館

(旭川市神楽七条八丁目)

支部会員が開催する写真展の周知宣伝に、本写真展コーナーをご活用下さい。

写真展開催の方は、ご報下下さい。

編集担当…山下 (〇一一) 五七二―三九五六

訃報

写真道展会友(釧路支部)

山根寿昭氏(72歳)

兼ねて病氣療養中のところ、平成二十四年三月七日ご逝去されました。

ここに謹んで冥福をお祈り致します。

写真道展会友(紋別支部)

佐々木栄市氏(81歳)

流水撮影中の事故により、平成二十四年三月十九日ご逝去されました。

ここに謹んで冥福をお祈り致します。

支部例会成績

札幌 支部長 山本隆晟

- ▽四月例会(二十日 宮川恵子審査会員選考)
 - ①大久保真②山本隆晟③香取征子④幾田祥健⑤砂澤一彦⑥地島悦郎⑦高田和子⑧寺地栄⑨山端鉄朗⑩今野紗衣
- ▽五月例会(十八日 武藤喜吾審査会員選考)
 - ①武田礼子②村上和子③山田京恵④香取征子⑤山本隆晟⑥廣岡尚⑦宮川明久⑧原慎子⑨今野紗衣⑩坂本幸夫
- ▽六月例会(十五日 長谷川純一先生選考)
 - ①裏征子②大久保真③山本隆晟④佐竹民夫⑤藤原富二夫⑥山端鉄朗⑦山田京恵⑧寺地栄⑨奈良美弥子⑩中島多恵
- ▽七月例会(二十日 山下智審査会員選考)
 - ①今明美②定岡時子③幾田祥健④奈良美弥子⑤廣岡尚⑥藤原富二夫⑦萩田貞子⑧澤田満起⑨高田和子⑩山本隆晟

旭川 支部長 馬場和美

- ▽四月例会(十二日 志賀芳彦審査会員選考)
 - (一席)細川貞子 (特選)菅原清弘 浦島寛 吉田祥子 中島玄任良 (入選)瀬川敏雄 菅原清弘 吉田祥子 田中昭一 谷藤貞夫
 - ▽五月例会(十日 田村健大朗審査会員選考)
 - (一席)田中昭一 (特選)田中昭一 白鳥敏昭 (入選)宮崎章子 白鳥敏昭 吉田祥子 阿部三重子 浦島寛 細川貞子 森田正義 池田政人
 - ▽六月例会(十四日 福田光男審査会員選考)
 - (一席)田中昭一 (特選)白鳥敏昭 池田政人 (入選)宮崎章子 阿部三重子 田中昭一 瀬川敏雄 森田正義 浦島寛 鈴木幸雄
 - ▽七月例会(十二日 志賀芳彦審査会員選考)
 - (二席)田中昭一 (特選)白鳥敏昭 早坂藤男 小森道夫 伊藤勝利 (入選)浦島寛 吉田祥子 田中昭一 池田政人 佐藤繁雅

小樽 支部長 川原静雄

- ▽五月例会(九日 滝野邦保審査会員選考)
 - ①貝沼正雄「今年もにしんに会えてありがたう」
 - ②鹿戸芳之③嵯峨秋雄④堀野正憲⑤高橋省三⑥成沢克朗⑦小島捷栄⑧小泉和子⑨松居秀昭
- ▽七月例会(四日 本郷正利審査会員選考)
 - ①鹿戸芳之
 - ②堀野正憲
 - ③小泉和子
 - ④嵯峨秋雄
 - ⑤成沢克朗
 - ⑥松居秀昭
 - ⑦高橋省三
 - ⑧貝沼正雄
 - ⑨小島捷栄



5月例会1位「今年もにしんに会えてありがたう」(モノクロ)貝沼正雄

余市 支部長 金子勝彦



6月例会1位「親子別離の翔」(カラー)丹野光雄

- ▽五月例会(二十日 審査互選)
 - ①丹野光雄
 - ②戸弘利③谷橋誠子④美濃英則⑤谷橋誠子⑥近藤健一⑦石岡誠二⑧金子勝彦⑨美濃英則⑩谷橋誠一
- ▽六月例会(十七日 審査互選)
 - ①丹野光雄「親子別離の翔」
 - ②戸弘利③谷橋誠一④石岡誠二⑤谷橋誠子⑥谷橋誠子⑦金子勝彦

釧路 支部長 浅海信一

- ▽四月例会(十二日 片村洋市審査会員選考)
 - ①長尾芳文「目覚めの頃」
 - ②水谷博之③谷村研一④岡本雄毅⑤千葉弘子⑥浅海信一⑦蝦名昇⑧蝦名昇⑨菅野肇
- ▽六月例会(十四日 佐藤武治審査会員選考)
 - ①浅海信一「人気のローカル鉄道」
 - ②水谷博之③長尾芳文④大里清志⑤蝦名昇⑥飛嶋博⑦岡本雄毅⑧千葉弘子⑨浅海信一



4月例会1位「目覚めの頃」(カラー)長尾芳文

- ▽平成二十三年 年度賞
- (釧路市長賞)岡本雄毅
- (釧路市教育賞)大里清志(北海道写真協会賞)蝦名昇、千葉弘子(北海道新聞釧路支社賞)浅海信一、水谷博之(北海道写真協会賞)千葉弘子、北構善一郎
- 会友の部(奨励賞)秋葉恵子(準奨励賞)秋葉洋一



6月例会1位「人気のローカル鉄道」(カラー)浅海信一

室蘭 支部長 佐々木 昇

▽三月例会(二十一日 月岡正明会友選考)

- ①長澤剛 ②森美津雄 三浦和希 ③佐藤俊晴 山田清滋 大坪恵子 (入選)森美津雄 長澤剛 大坪恵子 山田しげき
- ▽五月例会(二十四日 伊藤重利審査会員選考)
 - ①大坪恵子 ②山田清滋 三浦和希 ③森美津雄 工藤司郎 山田しげき (入選)成田正利 山田清滋 森美津雄 三浦和希

岩見沢 支部長 尾崎和男

- ▽三月例会(七日 審査互選)
 - ①広田広二②松田市郎③友広茂夫④森尚敏
- ▽五月例会(九日 審査互選)
 - ①友広茂夫②山崎正義③奥谷忠浩④田中克彦

恵庭 支部長 西澤 實

- ▽六月例会(二日 審査互選)
 - ①※大井マチ子②吉村剛③※東海林紀江④加藤憲秋⑤目黒健⑥五東建夫⑦※瀬戸善信⑧西澤實⑨田中康夫⑩塩田直 ※会員外
- ▽七月例会(七日 加賀谷重雄審査会員選考)
 - ①佐野ミヨ②吉村登美子③西澤實④加藤憲秋⑤五東建夫⑥田中康夫⑦工藤徹也⑧吉村剛⑨目黒健⑩吉田良樹

留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽四月例会(八日 審査互選)
 - ①松葉師正③畑忠幸⑤笹田健
- ▽六月例会(三日 審査互選)
 - ①川上正巳②澤岡政江③加藤美佳④畑忠幸⑤笹田健
- ▽七月例会(八日 審査互選)
 - ①加藤美佳②松葉師正③谷幹浩⑤澤岡政江

編集後記

次号は十二月を予定しております。

森田